

トヨタ紡織、シート、内装品などが LEXUS 新型 RX に採用

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：白柳 正義）は、シート、内装品などを開発し、トヨタ自動車株式会社が今月発売した LEXUS 新型 RX に採用されました。

1. フロントシート【新構造：新クッション長可変機構（“version L” に搭載）】

フロントシートの座面長さの調整機構を新構造にすることで、高身長乗員でも膝裏までサポートすることができ、快適性の向上に寄与しています。

新構造はスライド機構で、従来品に比べて座面長の調整量を 34mm（有効クッション長比）増やすことができました。また、新構造では座面の長さを変更しても溝がでかず、より快適な座り心地を実現しています。



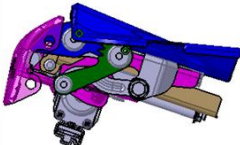
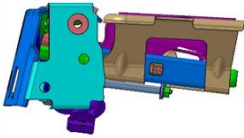
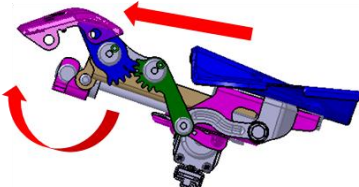
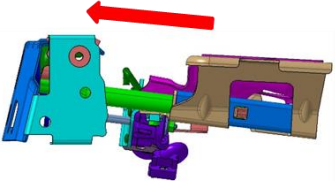
〈格納時〉



〈展開時〉



クッション長可変機構の構造比較

	従来品構造 〔 複数の部品が組み合わさって構成され、 部品が前後と回転することで座面長を調整 〕	新構造 〔 前後のスライドの動きのみで座面長を調整 〕
格納時		
展開時		

2. リヤシート

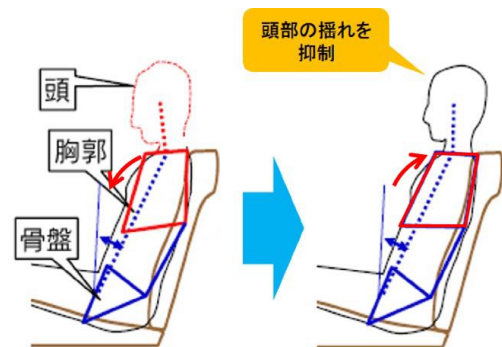
【シートベンチレーションシステム】

リヤシートに新たにシートベンチレーションシステム*を搭載。シートクッション内にダクトを設置して流路を形成し、限られたスペースでも風量を確認することで快適性の向上に寄与しています。

※シート内部に装備されたファンで、背もたれと座面から空気を吸い込み、不快な蒸れを防止する機能

【頭部揺れの抑制に寄与するシート形状】

シートバックのウレタン形状を工夫しホールド性をもたせ、胸郭部を保持することで頭部を垂直に支えられるようにしました。これにより走行中の不快な頭部揺れを抑制し、長時間の乗車でも疲れにくい構造となっています。



3. そのほか搭載された当社製品

ドアトリム、キャビンエアフィルター、オイルフィルター、エアクリーナーなど

以上